

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日		～	2025年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1日		～	2025年 7月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 29日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援提供環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが来たいと感じてくれること。 ・自己選択、自己決定場面を多く作ること。 ・興味関心のあるあそびの中で個別性に合わせた支援提供を行うこと。 ・十分なスペースの確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別性に合わせた玩具や用具提供 ・職員の対応力、知識向上 ・人権やガイドラインを基本としながら意思決定支援等を丁寧に取り組む。
2	支援提供内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択、自己決定場面の中で個別性に合わせた支援が取り入れられている。 ・安心感を持てるよう、信頼関係の構築を大切にできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質を高めることで、個々の支援ニーズをより正確に把握しながら、対応ができるようにしていく。 ・本人に合わせ、且つ本人の課題にも繋がるあそびの方向性の幅を広げられる実践力の向上。
3	支援時間中の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・その日にくる子どもの発達に合わせて環境構成を変え、配慮する。 ・職員への安全確保のための意識付けの取り組み。 ・危険と感じる場所や行動の共有と把握をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具や遊具の特性理解の知識向上 ・個々の特性理解や個別配慮の仕方の共有 ・職員間での事前確認、対応の共有

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ベアトレとしての情報提供機会 ・保護者同士の交流機会 ・きょうだい児に対する支援機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのベアトレ希望内容の聞き取り ・保護者会開催や送迎時に交流が持てるような話題づくり ・きょうだい児の支援時間のあそび参加
2	地域交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の園などとの交流を持っていない ・並行通所している園全てにあいさつに行けていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の園など協力したり、行事などにも参加する。 ・並行通所している園にあいさつに行く。
3			